

授業科目	家庭支援論 (CD クラス)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21308J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP3-2 DP5-3			
担当教員	河嶋 静代							
授業概要	核家族化、少子高齢化、共働きの増加など社会環境の変化により、近年の子育て家庭は様々な課題を抱えている。子どもの健やかな成長・発達を保障するために、また、親が持てる力を発揮し子育てに関われるようになるには、保育所や地域においてどのような支援が必要なのか、子育て家庭のニーズや社会的課題を踏まえて、家庭支援のあり方について考察していく。DVD や事例を用いた演習などにより、具体的な理解が得られるようにする。							
学生が達成すべき行動目標	1、家庭の意義と機能、家庭支援の役割等を説明することができる。 2、子育て家庭を取り巻く、現代の社会的状況について説明することができる。 3、子育て家庭の福祉を図るための社会資源や子育て支援施策等について説明することができる。 4、個別の家族のニーズに応じた多様な支援サービスの概要、子育て支援における関係機関との連携について考察することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	20	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	40		10			10	60	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)	20		10			10	40	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル1～4に到達したうえで、子育て家庭の個別ニーズに対応する家庭支援の構築について考察することができる。				1、家庭の意義と機能、家庭支援の役割等を理解する。 2、子育て家庭を取り巻く、現代の社会的状況について理解する。 3、子育て家庭の福祉を図るための社会資源や子育て支援施策等について理解する。 4、個別の家族のニーズに応じた多様な支援サービスの概要、子育て支援における関係機関との連携について考察できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション	講義	授業の概要 / 保育士による家庭支援の必要性	60
2	子育てと家族・家庭	講義・演習	家庭と家族の概念について理解する。家族の変遷とそれが子育てに与える影響について理解する	60
3	子育て家庭の課題—家庭と仕事の両立	講義・演習	子育て家庭が抱える悩みについて理解する	60
4	保育士に期待される役割と支援の基本	小テスト・講義	保育所保育指針における保育所の目的や保護者支援、また、「子どもの権利」という視点から家庭支援の基本を考える	60
5	子育て家庭と地域の関係	講義	子育て家庭と地域の関係	60
6	保育所と他の専門機関との連携	講義・演習	子どもの福祉を支える専門機関と保育所との連携について考える	60
7	児童福祉施設での家庭支援の考え方	小テスト・講義	乳児院、児童養護施設、障害児施設、母子生活支援施設における家庭支援のあり方について理解する。	60
8	家庭支援の基本としての相談支援	講義と演習	保育士が行う相談支援のあり方、相談支援の基本姿勢や原則について学ぶ	60
9	保育士として保護者の相談に応じるための留意点	講義・演習	保育士が親の良き相談支援者となるための留意点について学ぶ	60
10	保育所による家庭支援の実際	小テスト・講義	どのような家庭支援が展開されているか、具体的にを事例を通して理解する。	60
11	特別な配慮を要する家庭への支援—養育支援を必要とする家庭	講義・演習	子ども虐待の現状と子どもへの影響について理解し、虐待の発生予防と保育所等の責任と役割について学ぶ	60
12	特別な配慮を要する家庭への支援—障害児のいる家庭	講義・演習	障害児支援のあり方や保護者支援、親子関係支援について学ぶ	60
13	多様な家族への理解と支援	小テスト・講義・演習	外国にルーツをもつ家族や親に障害がある家庭、ひとり親家庭、里親家庭など、多様な家庭がある。どのような支援が必要かについて考える。	60
14	各家庭に対する支援の実際	講義・演習	家庭の変容をとらえ、政策として必要な支援のあり方や父親の子育て参加等について考える	60
15	学びのまとめ—これまでの小テストの振り返り	講義・演習	家庭支援論で学んだ中で興味のあるテーマについて、各自まとめる	60

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまで学んできた児童家庭福祉、子どもの発達等、保育士の専門性について整理、理解しておくこと。			
テキスト	『保育士を目指す人の家庭支援』白幡久美子編著 (株)みらい			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『夜間保育と子どもたち』桜井慶一編集 全国夜間保育園連盟監修 『ベビーホテルと児童家庭問題』河嶋静代著 京都法政出版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	保育や子ども、家庭に関する新聞記事やニュースなどを関心を持って見ておいてください。授業で実施する小テストや配布資料を閉じるファイルを準備しておいてください。			
達成度評価に関するコメント	試験、レポートにより評価を行います。 また「その他」として、授業での積極的な参加態度を評価します。			